開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

2020年 7月17日(金)—9月6日(日)

開館時間｜10:00–18:00（金曜は–20:00）入館は閉館30分前まで
休館日｜月曜日（8/10、8/31は開館）

主催：東京ステーションギャラリー［公益財団法人 東日本鉄道文化財団］、バウハウス100周年委員会
後援：ドイツ連邦共和国大使館、スイス大使館、ハンガリー大使館、一般社団法人 日本建築学会　特別協力：ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館
協力：専門学校 桑沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社 アトリエ ニキティキ　協賛：アウディ ジャパン 株式会社、株式会社 インターオフィス
企画協力：株式会社 アートインプレッション、株式会社 ミサワホーム総合研究所
●bauhaus100.japan URL：www.bauhaus.ac/bauhaus100/

入館料：一般1,200円、高校・大学生1,000円、中学生以下無料
＊障がい者手帳等ご持参の方は100円引（介添者1名は無料）
入館チケットの購入方法は当館ウェブサイトでご確認ください www.ejrcf.or.jp/gallery/

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1　03-3212-2485

1919年、ドイツの古都ヴァイマールに、建築家ヴァルター・グロピウスにより開校した造形学校「バウハウス」が、昨年その誕生から100年目を迎えました。ナチスの弾圧を受け1933年に閉鎖されるまで、わずか14年という短い活動期間でしたが、実験精神に満ち溢れたこの学校は、造形教育に革新をもたらし、今日にいたるまでアートとデザインに大きな影響を及ぼしています。

バウハウスでは、ヴァシリー・カンディンスキー、パウル・クレーなど時代を代表する芸術家たちが教師として指導にあたって、優れたデザイナーや建築家が育ち、画期的なデザインが生まれました。とりわけ、入学した学生が最初に受ける基礎教育で教師たちが試みた授業はユニークなものでした。

本展覧会では、バウハウスの基礎教育を中心に各教師の授業内容を紹介するとともに、その一端を体験していただけます。さらに、そこから発展した様々な工房（金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台など）での成果や資料など約300点を展示。また、バウハウスに入学した日本人留学生、水谷武彦・山脇巌・山脇道子・大野玉枝ら4名の活動を一堂に紹介する初めての機会となります。

bauhaus

ドイツと日本 Zukunft gestalten ともに未来へ
Schweizerische Eidgenossenschaft Confédération suisse Confederazione Svizzera Confederaziun svizra
Embassy of Switzerland in Japan スイス大使館
EMBASSY OF HUNGARY TOKYO
interoffice
bauhaus 100 japan
東 TOKYO STATION CITY
JR東日本

開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

2020年 7月17日(金)—9月6日(日)

開館時間｜10:00–18:00（金曜は–20:00）入館は閉館30分前まで
休館日｜月曜日（8/10、8/31は開館）

主催：東京ステーションギャラリー［公益財団法人 東日本鉄道文化財団］、バウハウス100周年委員会
後援：ドイツ連邦共和国大使館、スイス大使館、ハンガリー大使館、一般社団法人 日本建築学会　特別協力：ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館
協力：専門学校 桑沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社 アトリエ ニキティキ　協賛：アウディ ジャパン 株式会社、株式会社 インターオフィス
企画協力：株式会社 アートインプレッション、株式会社 ミサワホーム総合研究所
●bauhaus100 japan URL：www.bauhaus.ac/bauhaus100/

入館料：一般1,200円、高校・大学生1,000円、中学生以下無料
＊障がい者手帳等ご持参の方は100円引（介添者1名は無料）
入館チケットの購入方法は当館ウェブサイトでご確認ください www.ejrcf.or.jp/gallery/

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1　03-3212-2485

1919年、ドイツの古都ヴァイマールに、建築家ヴァルター・グロピウスにより開校した造形学校「バウハウス」が、昨年その誕生から100年目を迎えました。ナチスの弾圧を受け1933年に閉鎖されるまで、わずか14年という短い活動期間でしたが、実験精神に満ち溢れたこの学校は、造形教育に革新をもたらし、今日にいたるまでアートとデザインに大きな影響を及ぼしています。

バウハウスでは、ヴァシリー・カンディンスキー、パウル・クレーなど時代を代表する芸術家たちが教師として指導にあたって、優れたデザイナーや建築家が育ち、画期的なデザインが生まれました。とりわけ、入学した学生が最初に受ける基礎教育で教師たちが試みた授業はユニークなものでした。

本展覧会では、バウハウスの基礎教育を中心に各教師の授業内容を紹介するとともに、その一端を体験していただけます。さらに、そこから発展した様々な工房（金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台など）での成果や資料など約300点を展示。また、バウハウスに入学した日本人留学生、水谷武彦・山脇巌・山脇道子・大野玉枝ら4名の活動を一堂に紹介する初めての機会となります。

bauhaus
bauhaus
bauhaus
bauhaus
bauhaus
bauhaus

ドイツと日本 Zukunft gestalten ともに未来へ
Schweizerische Eidgenossenschaft Confédération suisse Confederazione Svizzera Confederaziun svizra
Embassy of Switzerland in Japan スイス大使館
EMBASSY OF HUNGARY TOKYO
inter office
bauhaus 100 japan

東 TOKYO STATION CITY
JR東日本

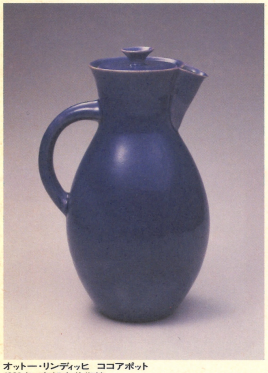
開校100年 きたれ、バウハウス ―造形教育の基礎―



フリッツ・シュライバー　学生たち（アトリエのバルコニー）
1932年頃　ミサワホーム株式会社



ヨースト・シュミット　1923年の「バウハウス展」のポスター
1923年　ミサワホーム株式会社



オットー・リンディッヒ　ココアポット
1923年　宇都宮美術館



パウル・クレー　バウハウス叢書2『教育スケッチブック』
1925年　ミサワホーム株式会社

会期中のイベント

❶「朝の鑑賞会」学芸員による展覧会解説

8月2日(日)、8月22日(土)　9:30～（約30分）

1階エントランス集合／定員：各回25名（要事前申込）／参加無料（別途要入館料）

❷「レンガ・タッチ＆トーク」レンガが特徴の当館のたてもの解説

8月6日(木)、8月23日(日)　11:00～（約40分）

1階エントランス集合／定員：各回15名（当日1階受付でお申し込みください）／
参加無料（別途要入館料）

❶のお申込み方法：6/3以降に当館Webサイトに掲載します。

会期前のプレイベント

バウハウス展プレイベント ― 東京駅で建築講座３

東京ステーションギャラリーは重要文化財の東京駅丸の内駅舎で活動する美術館として、
2018年から建築をテーマに「東京駅で建築講座」シリーズを行ってきました。
3回目となる今回は「きたれ、バウハウス」展のプレイベントとして実施します。

2020年 7月3日(金)・4日(土)・5日(日)

会場｜東京ステーションギャラリー2階展示室
定員｜❸～❻ 各回100名、❼ 各回50名　＊全館自由　＊未就学児の入場はご遠慮ください

バウハウスに体験入学！

講座一覧

❸ 対談「バウハウス解体新書」

日時｜7月3日(金) 18:00～19:30（開場17:40）
講師｜柏木 博（デザイン評論家／武蔵野美術大学名誉教授）、
深川雅文（キュレーター／クリティック、本展監修者）

❹ 講演会「シュパンヌンク！講成教育とバウハウス」

日時｜7月4日(土) 10:00～11:30（開場9:40）
講師｜成相 肇（当館学芸員）

❺ 講演会「オスカー・シュレンマーとバウハウス」

日時｜7月4日(土) 13:30～15:00（開場13:10）
講師｜木村理恵子（栃木県立美術館学芸員）

❻ 講演会「バウハウスと女性：扉をこじ開けた開拓者たち」

日時｜7月4日(土) 16:30～18:10（開場16:10）
講師｜杣田佳穂（ミサワバウハウス コレクション学芸員、本展監修者）　協力｜トレノバ

❼ 再現授業「ヨハネス・イッテンのデッサン」

日程｜7月5日(日)［A］13:00～14:30（開場12:40）、
［B］16:00～17:30（開場15:40）　＊同内容を2回開催します
講師｜岡本康明（京都芸術大学客員教授）
語り・音楽構成｜下地由希子（プレアデス主宰）
対象｜中学生以上

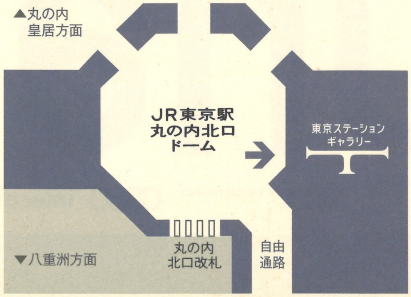
チケット料金 ＊全て税込

❸～❻ ［A券］1,500円
（講座1回＋バウハウス展入館引換券付）
［B券］1,000円（講座1回）

＊ご購入時に講座とチケットの種類（A券 or B券）をご指定ください。

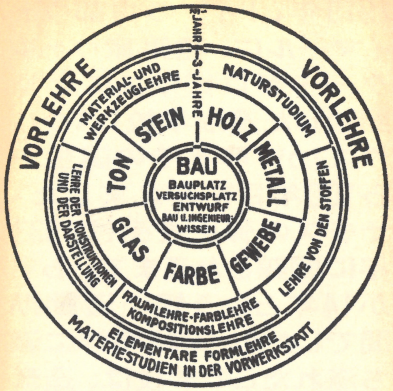
❼ 各回2,500円
（材料費含む、バウハウス展入館引換券付）

購入方法：6/3 以降に当館 Webサイトに掲載します。



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

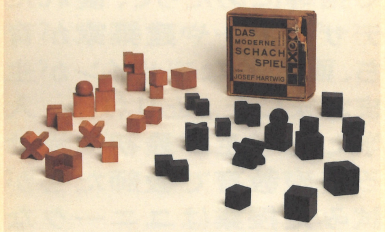
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1
交通＝JR東京駅丸の内北口改札前
03-3212-2485 www.ejrcf.or.jp/gallery/
次回展覧会「もうひとつの江戸絵画 大津絵」9月19日(土)―11月8日(日)



1922年のバウハウスのカリキュラム図



マルセル・ブロイヤー　クラブチェア B3（ヴァシリー）
1925年/1926年　宇都宮美術館



ヨゼフ・ハルトヴィッヒ　チェス・セット
1924年頃　ミサワホーム株式会社



フランツ・ジィンガー　男性の裸身（イッテンの授業より）
1919年　ミサワホーム株式会社